

第2学年〇組 英語科学習指導案

題 材	釜山の生徒に福岡や日本文化を紹介しよう	指導者	JTE1	〇〇	〇〇
		指導者	JTE2	〇〇	〇〇
			NS	〇〇	〇〇

1 指導観

- 新学習指導要領の全面実施にあたり、英語教育は新たな時代を迎えようとしている。すなわち、「4技能を総合的に育成すること」である。そのためには、「教材、題材、内容の改善」「4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力の育成」「小中高連携」等が求められている。さらに、本市においては、「福岡らしい国際教育の推進」も加わり、「コミュニケーション力(英語力)」「行動力(チャレンジ精神)」「発信力(伝え合う力)」の育成が求められている。

中学校における英語教育は、英文和訳や文法指導中心から、コミュニケーション活動を重視した指導へと移行してきた。それにもかかわらず、生徒の発信力は十分ではない。質問されたことに'Yes, No'や単語等で答えることはできても、会話を継続させようとしたり、自分の考えを根拠を明らかにしながら話したりすることは、生徒にとってたいへん難しい。また、世界では、グローバル化が急速に進展しており、将来英語は必要となるという理由をあげても、「国内で生活している限り、英語が話せなくても困ることはない」と考える生徒が多く、生徒の発信しようとする意欲を高めることも難しい。

本題材では、「もし、釜山生徒が福岡を訪れたら」という仮定のもとに、福岡や日本文化を紹介する活動に取り組みさせる。これは、「福岡らしい国際教育の推進」が求める『発信力』の重点目標「日本や福岡のよさを伝える」「自分の考えを論理的に説明する力の育成」を具現化するものと思われる。さらに、NSをファシリテーターとすることで、生徒は自分の考えを深めることができる。また、「釜山生徒に紹介する」という場面設定は、生徒の発信しようとする意欲を高められると思われる。JTE1の授業では、自分の意見を伝える方法を基礎から発展まで練習する。このことで、生徒は自分の考えを述べることに自信をもち、発信しようとする意欲を高めるであろう。

- 本学級は、男子20名、女子16名で構成される。男女の仲がよく、自分の意見を発信しやすい雰囲気を持つ。4月に英語学習に関するアンケートを取ったところ、「英語は好きですか」に対し、33%の生徒が、「どちらかという嫌い」「嫌い」と回答した。同質問に対する学年生徒の回答の平均は16%であることから、英語学習を苦手とする生徒が多いことが分かる。「苦手な活動」については、学年全体の傾向として、「英作文」「先生の英語の質問に答えること」「自分の考えを英語で言うこと」の発信に関する活動が多いことが分かった。しかし、本学級では、全活動を苦手とする生徒が多く、英語に自信を持っていない様子が見られる。さらに、NSに関する質問の「自分からNSの話しかけていますか」に対しては、「あまり話しかけていない」「全く話しかけていない」が64%で、英語で発信しようとする意欲も十分でないことが分かる。「英語が苦手な生徒が多い」「知識・技能に自信がもてない」「英語で発信する意欲が低い」という課題を抱えた学級である。

本校第2学年では、本年度「発信力向上シラバス」を作成し、毎月4時間程度発信力向上を目指す取組を行っている。授業形態はNS + JTE2とJTE1の分割で、NSは生徒が「自分の考えや意見を発信する場」を、JTE1は「発信するために必要な知識・技能の育成」を担当する。4月は、「How did I spend my spring vacation?」という題でspeech、5月は、「お気に入りのものの紹介」という題でshow & tell、6月は「大阪旅行を企画しよう」という題でpresentation、7月は、「日本文化を説明しよう」という題でdiscussionを行った。これらの活動を通して、生徒は少しずつ発信することへの意欲と自信をつけている。今後は、発表という活動にとどまらず、自分が受信したことに対して、自分の意見を言えるようになることが望まれる。

- 指導にあたっては、指導計画5時間の「発信力向上シラバス」を活用する。まず、生徒は、釜山生徒に対して「福岡の名所」を紹介するために、presentationを準備する。この際、1学期に行ったspeech, show&tell, presentationで学習した「効果的な伝え方」をしっかり活かしてpresentationの練習をするように指示する。この「効果的な伝え方」とは、目線、声量、顔の表情、ジェスチャーに気をつけて伝えるということである。1学期の「大阪旅行を企画しよう」のpresentationでは、自作の

リーフレット，ポスター，模型などを使用した，今回は，より効果的に相手に伝えるために，プレゼンテーション用ソフトを使用する。

次に，JTE1は，「発信するために必要な知識・技能の習得」するための授業を行う。それを受けて，NSとJTE2が，「自分の意見や考えを発信」するための授業を行う。JTE1の授業（指導案A）では，Warm-upとして，日常会話とワードカウンターに取組ませる。ワードカウンターでは，与えられた題について1分間に何語話することができるか語数を数えることで，英語で話す意欲を高め，英語で発信することに慣れさせる。'Build-up Drill'では，「自分の立場を明らかにし，その理由を述べる」練習をさせる。ここでは，'Opinion & Reasons'に取組ませ，質問に答えさせるだけでなく，答の理由も述べさせる。さらに，新しい文型，"I agree (disagree) ~ because …."で，日本語を英文に直す練習と身近な話題を取り上げた自己表現活動に取組ませる。'Skill-up Drill'では，提示されたものに対して，自分の考えを述べる練習をさせる。ここでは，苦手意識を持たせないように，ペアやグループで意見をまとめながら発信するよう指示する。JTE2とNSの授業（指導案B）では，NSはファシリテーターとしての役割を担う。Warm-upとして，'Opinion & Reasons'で練習したことを使いながら，日常会話を行う。次に，グループごとに，NSに提示された福岡の名所や日本文化を紹介するという活動に取組ませる。ここでは，3人1組の2グループが，「福岡名所」のpresentationを行う。presentationを聞いた生徒たちは，どちらの紹介を採用するか自分たちの意見を述べながら決定する。

最後に，前時の発表の様子をビデオで振り返ることで，反省や感想をまとめさせる。「自分の意見を効果的に伝えることができたか」「積極的に意見を述べていたか」という観点から，自己評価することで，生徒が次の活動での発信への意欲を高めることが期待される。

2 目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ presentation で相手に効果的に伝えようとしている。 ・ 自分の立場を明らかにし，その理由を述べようとしている。
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した文型を必要に応じて使い分け，自分の意見とその理由を述べることができる。
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し手が伝えようとしていることを理解できる。 ・ 相手の考えに対して意見を述べるができる。
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見を述べる方法を理解している。 ・ 福岡や日本文化のよさを理解している。

3 発信しようとする意欲を育成するための工夫

(1)PDCA サイクルの徹底



- (2) ワードカウンターの活用
- (3) NS のファシリテーターとしての活用

3 単元の指導計画 (全5時間)

9・10月の発信力向上シラバス

時	学習活動・内容・手立て	
	JTE1	NS+JTE2
1 ・ 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Presentation の準備</div> <p>(1) 釜山生徒に紹介する「福岡の名所」と「日本文化」の presentation の内容準備 (2) 資料準備</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">より効果的に相手に伝えるために、プレゼンテーション用ソフトの作成に取組ませる。</div> <p>(3) リハーサル</p>	/
3 ・ 4 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">発信するために必要な知識・技能の習得</div> <p>(1) Warm-up</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ワードカウンターを使いながら、1分間で何語話せるかという活動に取組ませる。</div> <p>(2) Build-up Drill ・ 'opinion & reasons' ・ 'I agree (disagree) because ~' の基礎練習 (3) Skill-up Drill ・ 'I like (don't like) because ~' と I agree (disagree) の発展練習</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">英語で発信することが苦手な生徒を配慮するために、グループで活動させる。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分の意見や考えを発信</div> <p>(1) Warm-up ・ 日常会話</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">'Build-up Drill' の 'opinion & reasons' で練習したことを使いながら、日常会話を行う。</div> <p>(2) NS に福岡の名所を紹介 ・ 提示された名所や日本文化を、グループごとに紹介</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">NS は、紹介文にポイントを与え、発信への意欲を高める。</div> <p>(3) 釜山生徒に福岡の名所を紹介 ・ 2グループが presentation ・ Q&A 及び discussion</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">"I agree (disagree) ~because" を使って、他者の意見に対する意見も述べさせる。</div>
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">振り返り</div> <p>(1) VTR を見ながら、教師のコメントを聞く。 (2) 自己評価用紙に記入</p>	/

※ JTE2 は、「振り返り」のためのビデオ撮影及び、評価をする。

※ 本時は分割授業となり、学級の半分を1時間ごとに交替で指導する。

(分割 A)

4 本時 平成23年〇月〇日(金)第5校時

場所 2年〇組教室

指導者 JTE1 〇〇 〇〇

(1) 本時の目標

- 自分の立場を明らかにし、その理由を述べようとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 自分の意見を述べる方法を理解している。(言語・文化についての知識・理解)

(2) 本時の指導観

本時は、提示されたことに対して、自分の立場を明らかにし、その理由を述べようとする態度を育成することをねらいとする。まず、ワードカウンターで1分間自由に英語を話させ、発信することに慣れさせる。次に、Build-up Drillで、'opinion & reasons'に取組ませ、質問に対して答とその理由を述べる練習をする。さらに、新しい表現'I agree (disagree) ~ because ...'を導入し、練習させる。Skill-up Drillでは、提示されたことに対して、自分の意見を述べる練習をさせる。この際、全員が意欲的に活動に参加できるようにペアやグループでの活動を取り入れる。

次時は、NSの授業で、「釜山生徒に福岡名所と日本文化を紹介しよう」という題材で、PresentationとDiscussionを行う。

(3) 準備

- ①ワードカウンターシート ②ストップウォッチ ③ワークシート
- ④スクリーン、PC、プロジェクター

(4) 過程

学習活動・内容	準備	配時	発信しようとする意欲を育成するための工夫	評価規準
1 あいさつをする。 2 Warm-upをする。 (1)教師と簡単な会話をする。 (2)与えられた題で、1分間話す。 ・ My favorite things to do 3 本時のめあての確認をする。	① ②	1' 3' 7'	・ 教師の質問には、なるべく2文以上で答えるようにさせる。 ・ ワードカウンターでは、間違いを気にせず、自由に話させることを大切にする。	
自分の意見を言う方法を学習しよう	③	1'		
4 Buid-up Drill (1)'opinion & reasons'に取組む。 ・ Q:Which season do you like? A:I like summer because I like to swim. (2)"I agree (disagree) ~ because ..."の表現を練習する。	④	10' ' 7'		言：自分の意見を述べる方法を理解している。 (プリントチェック)
5 Skill-up Drill ・ 提示されたものに対して、"I like (don't) ~ because ..."や "I agree (disagree) ~ because ..." を使って、自分の考えを述べる。		20'	・ スクリーンに絵や写真を提示することで、日常生活での会話の雰囲気を作る。 ・ ペアやグループで活動させる。	関：自分の立場を明らかにし、その理由を述べようとしている。 (様相チェック)
6 あいさつをする。		1'		

(分割 B)

4 本時 平成23年〇月〇日(金)第5校時

場所 視聴覚(英語)教室

指導者 JTE2 〇〇 〇〇

NS 〇〇 〇〇

(2) 本時の目標

- Presentation で相手に効果的に伝えようとしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 相手の考えに対して意見を述べることができる。(理解の能力)

(2) 本時の指導観

1学期に、生徒は speech, show & tell, presentation を通して、効果的な伝え方について学習してきた。

本時は、効果的な presentation を目指させるだけでなく、その内容について質問したり、自分の考えを伝えようとする意欲を育てることをねらいとする。題材は、「釜山生徒に福岡や日本文化について紹介しよう」である。まず、グループごとに、NS が提示した福岡名所や日本文化について短い英文で紹介する活動に取り組む。NS は、紹介された英文にポイントを与えることで、生徒の発信への意欲を高める。次に、3人1組の2グループが、釜山生徒に福岡の名所を楽しんでもらう企画を発表する。発表を聞いた生徒は、質問したり、意見を出したりし、どちらの企画を採用するか決定する。NS はファシリテーターとしての役割を担う。生徒の意見を引き出すために質問したり、自分の意見を述べそれに対して意見を言わせたりすることで、生徒が積極的に自分の考えを伝えようとする意欲を高める。JTE2 は、振り返りのためのビデオ撮影および、コミュニケーションへの関心・意欲・態度を生徒の様相から評価する。

次時は、VTRを見ながら、活動の自己評価をし、次の活動への意欲へとつなげる。

(3) 準備

- ①ワークシート ②辞書 ③電子黒板

(4) 過程

学習活動・内容	準備	配時	発信しようとする意欲を育成するための工夫	評価規準
1 あいさつをする。 2 Warm-up をする。 (1)NS と簡単な会話をする。 (2)福岡名所や日本文化について NS に紹介する。 ・ People enjoy shopping in Canal City. You should go to Jump Shop. There are many interesting comic goods.	① ②	1' 3' 15'	・ 質問には、なるべく2文以上で答えさせる。 ・ NS は、紹介文に対してコメントしながら、ポイントを与える。 ・ 辞書を使わせる。	
3 本時のめあての確認 友人の presentation を聞いて、意見を述べよう		1'		
4 福岡の名所の presentation を聞く。 (1)4人1組の2班の発表を聞く。 (2)グループごとに意見をまとめる。 (3)どちらを採用するかを決定する。	③	25'	・ プレゼンテーション用ソフトを使用し、映像でわかりやすく伝えさせる。 ・ 質問や意見をまとめるためにペアやグループで活動させる。	関：Presentation で効果的に伝えようとしている。 (様相チェック)
5 NS のコメントを聞く。		4'		理：相手の考えに対して意見を述べるができる。 (様相チェック)
6 あいさつをする。		1'		